岩見沢赤電保存会　事業計画書

◆岩見沢赤電保存会の目的

岩見沢市栗沢町上幌に保存された「711 赤い電車」を末永く良好な状態で維持、管理するとともに、地域活動の場としての役割を担う施設として保存運営していくことを通し、歴史的、文化的に貴重な車両を後世に残し、北海道の鉄道車両の歴史継承、並びに過去、鉄道の街岩見沢として歩んできた地域アイデンティティの復権に寄与する。

１，　活動方針

■保存会の目的を達成するために、下記の活動を行う。

① 中長期保全活動

・保存状態を良好に保つため、必要に応じて全体規模の塗装や環境整備計画を作成。

・計画に合わせて特別事業等としての保全活動を展開する。

② 短期保全活動

・適宜、交代制で車内清掃や車内グッズ販売等を行う。

・急を要する修繕や整備の実施。

③ 周知活動

・赤電の事をより理解していただくための周知活動を随時行っていく。

・新たなファンづくりを実現するための計画及び活動を行う。

・既存のファンにより親密になってもらうための計画及び活動。

・Web による発信を行う。

・年に１度の広報誌発行。

④ 大地のテラスとの連携活動

・赤電車と大地のテラスに相乗効果となるイベントやイメージ戦略の実施。

⑤ 他団体活動との連携

・鉄道系団体や地域活動団体との連携を行う。

２，資金計画

■収入

①会費収入：

◇会員制　　正会員 3,000 円（年額）とし、会員には会員証、会報等特典を提供するとともに車内に会員名簿を掲示

◇寄附金　　会員組織のほかに寄付金を募る

◇広告収入　車内広告を模したものや、中吊り広告等の参加者を募集する。価格設定等は別途計画を立てて世話役会で承認

②物品販売収入

◇全ての物販等は赤電車の運営、維持管理のためと明記

◇販売品（例）：赤電ステッカー／赤電 DVD／実車塗装片／絵葉書／キーホルダー等々、イベントやネット販売が可能なものを中心に随時検討。

□インセンティブ(会員や寄付者への返礼的アクション)

・車内広告的名簿貼りだし(会員枠／寄付枠 3,000 円以上)を実施。

□入金方法

・口座（ゆうちょ）振り込みとする。

３，運営組織

事務局所在地

〒068-0827　北海道岩見沢市春日町1丁目11-22　　ハブデザインズ内

メールアドレス　info@iwamizawa711.com

世話役会

代表　　羽鳥博史

副代表　　丸山裕司

会計　　丸山裕司

事務局長　　長野博樹

事務局次長　花輪和明

世話役会員　平野義文 大日方弘之 木種憲博 高橋洋文 大森啓史

世話役会の任期は１年とし毎年改編を行うが、任期を連続も可能とする。

(2017.2.22)
(2023.9.22改訂)